

新規事業評価調書

【ほ場整備事業】

太子町 いわみかまえしも 岩見構下地区

農政環境部農林水産局
農地整備課

事業評価調書（新規）

部課室名	農政環境部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農整備課長 石井龍太郎 (基盤整備班主幹 高林主佳)	内線	4003 (4014)
------	---------------------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	地区名	総事業費 (内用地補償費)	4.7億円 (0.4億円)																																	
		農地整備事業	いわみ かま文しも 岩見構下地区																																			
所在地			事業採択 予定年度	着工予定年度	完成予定年度																																	
揖保郡太子町岩見構下			H29	H29	H33																																	
事業目的			事業内容																																			
<p>本地区は、太子町西部に位置し、水稻、小麦、大豆が生産されており、集落営農による野菜作を進めたいが耕作条件が悪く、取り組みにくい状況にある。</p> <p>ほ場整備により農作業の省力化を図り、稲・麦・大豆の低コスト生産及び野菜の新規生産を行うとともに、集落営農組織への農地利用集積により効率的かつ安定的な農業経営を実現する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 区画整理 23.3ha ・ 事業主体 兵庫県 <p>[負担割合 国：50%、 県：27.5% 町：10%、 地元：12.5%]</p>																																			
評価視点	評価結果の説明																																					
(1) 必要性	<p>本地区は、ほ場整備計画を契機に設立した農事組合法人を中心に営農を開始しているが、ほ場の区画が小さく不整形なうえに農道が狭いことから、大型機械化を進めることが困難である。また、地区内の水路は用排水兼用であり、漏水対策や配水管理などの水管理に多大な労力を要している。</p> <p>このような状況の中、水稻及び麦の低コスト化及び野菜の新規生産を開始し、力強い農業経営を展開していくためには、農作業の機械化や水管理の省力化を図る基盤整備が必要である。</p>																																					
(2) 有効性・効率性	<p>労働時間の短縮による担い手の育成、作物生産の増加</p> <p>①有効性</p> <p>ア 事業効果</p> <p>a) ほ場整備及びこれに伴う農業機械の導入による労働時間の短縮</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・ 10a 当たりの労働時間</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">水 稻</td> <td style="width: 10%;">31.5hr</td> <td style="width: 10%;">→</td> <td style="width: 10%;">12.6hr (60%減)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小 麦</td> <td>20.5hr</td> <td>→</td> <td>3.1hr (85%減)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>大 豆</td> <td>37.6hr</td> <td>→</td> <td>9.0hr (76%減)</td> </tr> </table> <p>b) 担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手数（認定農業者） 1 経営体 → 1 経営体（変更なし） ※ほ場整備計画を契機として H27 に設立した農事組合法人岩見の里営農組合 ・ 担い手への農地集積 13.4ha → 22.2ha（集積率 95%） ※人・農地プラン策定済（H27.3） ※農地集積に当たっては農地中間管理事業を活用しており、今後更に活用予定 <p>【担い手への農地集積計画】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="width: 30%;">現況(H28)</th> <th style="width: 30%;">計画(H33)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>担い手の経営面積 ① (地区外を含む経営面積)</td> <td style="text-align: center;">13.4ha (13.4ha)</td> <td style="text-align: center;">22.2ha (22.2ha)</td> </tr> <tr> <td>担い手以外の経営面積 ②</td> <td style="text-align: center;">11.6ha</td> <td style="text-align: center;">1.1ha</td> </tr> <tr> <td>計 (①+②)</td> <td style="text-align: center;">25.0ha</td> <td style="text-align: center;">23.3ha</td> </tr> </tbody> </table>					・ 10a 当たりの労働時間		水 稻	31.5hr	→	12.6hr (60%減)			小 麦	20.5hr	→	3.1hr (85%減)			大 豆	37.6hr	→	9.0hr (76%減)		現況(H28)	計画(H33)	担い手数	1	1	担い手の経営面積 ① (地区外を含む経営面積)	13.4ha (13.4ha)	22.2ha (22.2ha)	担い手以外の経営面積 ②	11.6ha	1.1ha	計 (①+②)	25.0ha	23.3ha
・ 10a 当たりの労働時間		水 稻	31.5hr	→	12.6hr (60%減)																																	
		小 麦	20.5hr	→	3.1hr (85%減)																																	
		大 豆	37.6hr	→	9.0hr (76%減)																																	
	現況(H28)	計画(H33)																																				
担い手数	1	1																																				
担い手の経営面積 ① (地区外を含む経営面積)	13.4ha (13.4ha)	22.2ha (22.2ha)																																				
担い手以外の経営面積 ②	11.6ha	1.1ha																																				
計 (①+②)	25.0ha	23.3ha																																				

c) 野菜等の作付面積・生産量の増加

- ・じゃがいも 1.0ha 増、10.8 t 増 (新規導入) ※町観光オーナー制度活用
- ・キャベツ 0.5ha 増、18.4 t 増 (新規導入)
- ・小麦 2.1ha 増、4.0 t 増 (1.3 倍増) ※醤油用契約栽培
- ・大豆 1.8ha 増、1.8 t 増 (2.3 倍増) ※味噌・豆腐用契約栽培
- ・この他、(株)神姫バスが展開する野菜販売事業の集荷場が地区に隣接しており、カボチャなど多品目の野菜を生産・出荷

【作付計画】

(単位: ha)

区分	本地面積	水田				畑	延べ作付面積	農地利用率※1
		水稻	キャベツ	小麦	大豆	じゃがいも		
現況	23.4	11.0	0.0	8.3	1.4	0.0	20.7	88%
計画	22.6	10.4	0.5	10.4	3.2	1.0	25.5	113%
増減	△0.8	△0.6	+0.5	+2.1	+1.8	+1.0	+4.8	+25%

※1 農地利用率=延べ作付面積/本地面積

※2 稲・麦・大豆にキャベツ、じゃがいもを組み合わせた作付体系

イ 費用便益比

(総便益額 B) / (総費用 C) = 535 百万円 / 411 百万円 = **1.30**

(単位 千円)

総便益額 (B) ※1		総費用 (C) ※2	
営農経費節減効果	540,307	当該事業費 (現在価値化換算後)	401,543
作物生産効果	10,276	評価期間における予 防保全費・再建設費	52,363
維持管理費節減効果	△19,658	評価期間終了時点の 資産価値	△42,542
耕作放棄防止効果	13	/	/
公共用地創設事務節 減効果	984		
国産農産物安定供給 効果	3,526		
計	535,448	計	411,364

※1 総便益額とは、評価期間45年(当該事業期間5年+40年)に発現する効果

※2 総費用とは、評価期間45年で必要な工事費と維持管理費等

※3 用排水路の増設等に伴い管理施設が増加することから、マイナス便益となる

② 効率性

単位面積当たり事業費の妥当性

単位面積当たりの事業費は、大区画化整備によりコスト縮減を図ることとしており、県下における他地区と比較し、安価な整備である。

	ほ場整備計画 (ha)	事業費計 (千円)	10a当たり 事業費(千円)
兵庫県他平均※			2,590
岩見構下地区	23.3	465,000	1,996

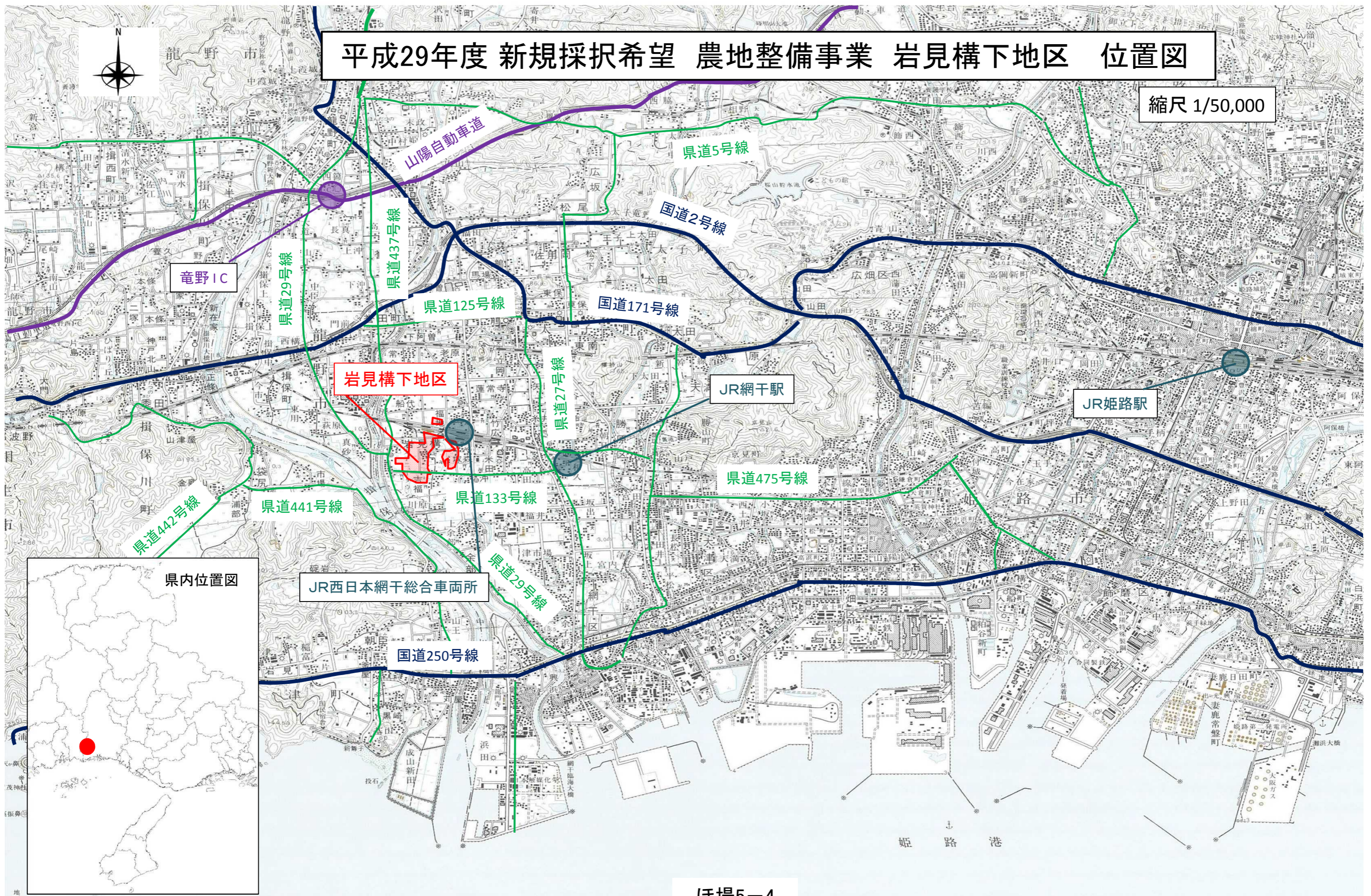
※県下で過去10年以内に完了した県営ほ場整備事業(50a標準区画)の平均事業費

<p>(3) 環境適合性</p>	<p>専門家による現地調査において、ほ場等に生息する次の希少種が確認されており、これらの生息空間を確保するための対策を講じる。</p> <p>また、畦畔管理のための設置足場や事業看板等に県産木材を活用する。</p> <table border="1" data-bbox="435 318 1461 808"> <thead> <tr> <th>主な希少種</th> <th>レッドデータ等のランク</th> <th>対 策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドジョウ</td> <td>兵庫県：B ランク</td> <td rowspan="3">工事中は地区外に待避させ、排水路の一部に深みやよどみを創設し、生息環境を確保</td> </tr> <tr> <td>メダカ</td> <td>兵庫県：要注目種 環境省：絶滅危惧種Ⅱ類</td> </tr> <tr> <td>マルタニシ</td> <td>兵庫県：C ランク 環境省：絶滅危惧種Ⅱ類</td> </tr> <tr> <td>ツチガエル</td> <td>兵庫県：C ランク</td> <td>工事中は地区外に待避させ、排水路側壁に斜路を設置</td> </tr> <tr> <td>ニシキソウ</td> <td>兵庫県：C ランク</td> <td>工事中は地区外に待避させ、工事後に排水路法面に移植</td> </tr> </tbody> </table>	主な希少種	レッドデータ等のランク	対 策	ドジョウ	兵庫県：B ランク	工事中は地区外に待避させ、排水路の一部に深みやよどみを創設し、生息環境を確保	メダカ	兵庫県：要注目種 環境省：絶滅危惧種Ⅱ類	マルタニシ	兵庫県：C ランク 環境省：絶滅危惧種Ⅱ類	ツチガエル	兵庫県：C ランク	工事中は地区外に待避させ、排水路側壁に斜路を設置	ニシキソウ	兵庫県：C ランク	工事中は地区外に待避させ、工事後に排水路法面に移植
主な希少種	レッドデータ等のランク	対 策															
ドジョウ	兵庫県：B ランク	工事中は地区外に待避させ、排水路の一部に深みやよどみを創設し、生息環境を確保															
メダカ	兵庫県：要注目種 環境省：絶滅危惧種Ⅱ類																
マルタニシ	兵庫県：C ランク 環境省：絶滅危惧種Ⅱ類																
ツチガエル	兵庫県：C ランク	工事中は地区外に待避させ、排水路側壁に斜路を設置															
ニシキソウ	兵庫県：C ランク	工事中は地区外に待避させ、工事後に排水路法面に移植															
<p>(4) 優先性</p>	<p>地元集落では、ほ場整備計画を契機に新たに農事組合法人を立ち上げ、キャベツや町の観光オーナー制度を活用したじゃがいもの新規生産、及び大区画整備による水稲・麦・大豆の生産コスト低減・契約栽培拡大に取り組もうとする機運が高まっている。</p> <p>「ひょうご農林水産ビジョン2025」に掲げる第1の施策項目「野菜等園芸作物の生産拡大」及び第2の施策項目「土地利用型作物のブランド力向上」を先導する優先性の高い地区である。</p> <p>また、ほ場整備率が低く効率的な農業経営が難しい太子町において、今後の営農モデルとなる地区として率先的に進めていく必要がある。</p> <p style="text-align: center;">関係戸数 91 戸の事前同意率 100%</p>																

(注) 図面等を参考として添付すること

平成29年度 新規採択希望 農地整備事業 岩見構下地区 位置図

縮尺 1/50,000



岩見構下地区 計画平面図

縮尺 1/4,000



契約栽培の小麦の営農状況



(株)神姫バス野菜集出荷状況



太子町が進める観光オーナー制度の活用



(株)神姫バス野菜集出荷場



航空写真



狭小な農地

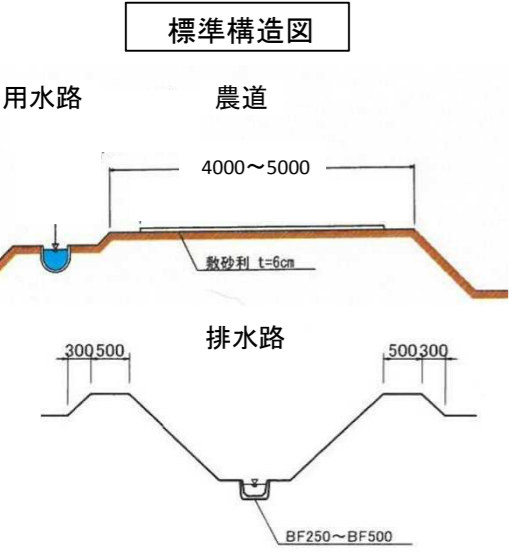
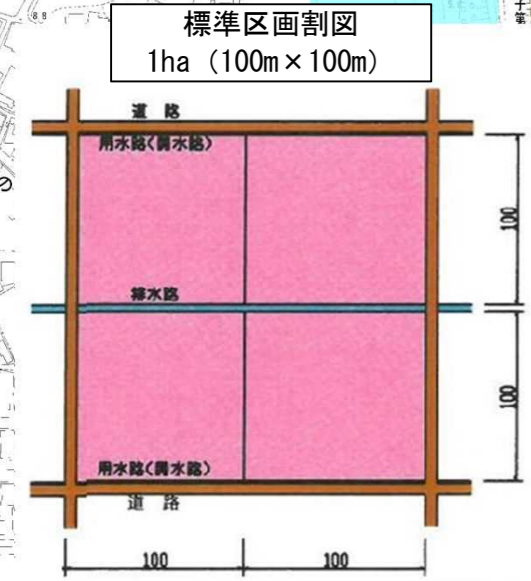


W=1.9m

狭い農道



老朽化した用排兼用水路



凡例

	田畑輪換田
	永久畑
	非農用地
	支線道路
	支線用水路
	支線排水路
	国道
	県道
	市道

1 スケジュール

工種	H29	H30	H31	H32	H33
実施設計					
区画整理工					
その他(換地)					

2 事業効果について

(1) 費用対効果

① 総便益(B)の項目

事業	B(総便益)	算出方法
ほ場整備	①営農経費節減効果	区画拡大や道路・水路整備による農業機械の大型化や水管理の省力化に伴い、営農に係る経費が節減される効果
	②作物生産効果	ほ場整備により農業機械導入が可能になることや田畑輪換が容易になることに伴い、作付面積や収量が増加する効果
	③維持管理費節減効果	ほ場整備により農業用施設の維持管理に係る経費が節減される効果(新規整備の場合、施設数が増加することから、マイナス効果となる)
	④耕作放棄防止効果	ほ場整備による耕作条件の改善、労働環境の向上に伴い、耕作放棄の発生が抑制され、作物生産が維持される効果
	⑤公共用地創設事務節減効果	区画整理及び換地による公共用地創設に伴い、公共用地を取得する用地買収事務に係る経費が節減される効果
	⑥国産農産物安定供給効果	国産農産物が安定的に供給される安心感を国民が享受できる効果(農林水産省アンケート調査結果をもとに算定)

② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(総便益)		C(総費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費* (百万円)	維持管理費 (百万円)		
ほ場整備	農地整備事業	①営農経費節減効果	540	労働時間の短縮(水稻) 31.5→12.6時間/10a	411	359	52	1.30
		②作物生産効果	10	作付面積の増加 小麦等3.6ha増				
		③維持管理費節減効果	△20	施設整備による管理費増 水路延長の増				
		④耕作放棄防止効果	0.01	将来発生が予測される耕作放棄を防止				
		⑤公共用地創設事務節減効果	1	町公園用地の創出				
		⑥国産農産物安定供給効果	4	国産農産物の安定供給増				
		計	535					

注1) 費用便益比算定:「土地改良事業における経済効果の測定方法について」(農林水産省構造改善局長通達)による

注2) ※事業費は、当該事業費+事業着手時点の既存施設資産価値-評価期間(45年)終了時点の施設資産価値

注3) 四捨五入により計が合わない場合がある

(2) 費用対効果に含まれない主な効果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 県土の保全(地下水のかん養、農地・農村における災害の抑制) ・ 農村の活性化 ・ 地域交通の利便性の向上
--